

28企業・事業所を表彰

浜松市 社会貢献活動たたえる

浜松市は15日、2016年度に創設した「企業の社会貢献（CSR）活動表彰」の表彰式を市役所で開いた。鈴木康友市長が初代受賞者となった市内28企業・事業所の代表者に表彰状を手渡し、それぞれの取り組みをたたえた。

鈴木市長は「先進的な企業を顕彰して地域との協働をさらに推進するために、つづいて」と目的を語り、「さらに活動を促進し、地方創生に尽力してほしい」と呼び掛けた。

従業員の地域活動参加を促進する「地域でキラリと輝く従業員部門」に7件、地域の社会的課題の解決につながる活動を推進する「企業で取り組む社会貢献部門」に24件の応募があり、全てを表彰対象にした。



表彰状を受け取る受賞企業の代表者＝浜松市役所

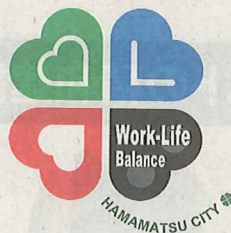
表彰式では受賞者を代表して、北区引佐町の「久留女木の棚田」の環境保全活動に協力した不二総合コンサルタント（北区）が事例発表を行った。



社会貢献マーク

創設の2制度 付与マーク発表

浜松市は15日、2016年度に創設した「企業の社会貢献（CSR）活動表彰制度」と「ワークライフバランス推進事業所認証制度」の対象企業にそれぞれ付与するマークを発表した。各企業のPRに活用してもらい、



ワークライフバランスの認証マーク

市民協働と働きやすい職場環境づくりの啓発につなげる。

マークはそれぞれ公募し、いずれも中区のデザイナーが考案した作品を採用した。社会貢献活動部門は、英訳の「ソーシヤル・コントリビューション」の頭文字「S」と「C」をモチーフにしたデザイン。企業などが社会

を支えるイメージを現している。

ワークライフバランス部門は、四つのハートを組み合わせ、四つ葉のクローバーの形に仕立てている。第1弾の認証企業は現在審査中で、17年2月に発表する予定という。